

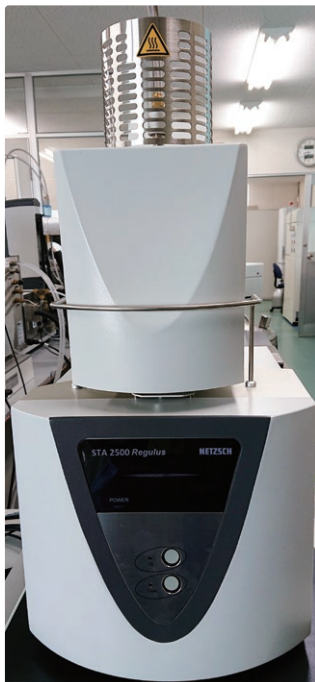
# 熱重量－示差熱分析装置 (TG-DTA)

脱カーボンを見据えたEVを始めとする新たなパワートレイン等の開発に伴い、様々な機能材料の開発も加速しています。これらの機能材料は様々な温度域での使用が見込まれており、実用化のためには、使用想定温度域での材料の挙動を把握することが必要不可欠です。弊社はこの度、最新鋭の高性能熱重量－示差熱分析装置(TG-DTA)を導入しました。

様々な材料の熱的性質を高精度で測定することが可能で、ユーザ様の新材料開発をサポートいたします。

## 熱重量－示差熱分析装置(TG-DTA)の概要

TG-DTAにより、**物質の吸発熱変化、分解・燃焼温度、重量変化、ゴム中のカーボンブラック定量等の測定が可能**です。また、**高温仕様により今までよりさらに高い温度域まで測定が可能**です。

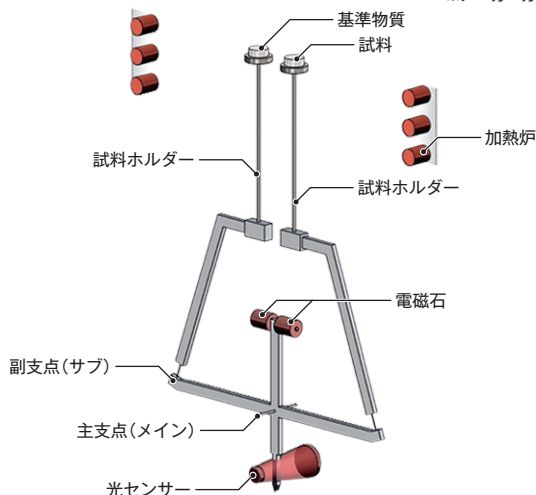


STA2500 Regulus

項目	仕様
メーカー	NETZSCH
装置型式	STA2500 Regulus
評価項目	融点、凝固点、分解・燃焼温度、質量変化等
測定温度	RT~1600℃
昇温速度	0.001℃/min~100℃/min(ただし1100℃まで)
DTA分解能	1 nV
TG分解能	0.03 μg
雰囲気	アルゴン
試料寸法	φ5試料容器に入る形状
特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスフローコントローラー搭載による多種雰囲気の測定が可能</li> <li>・ASTM標準物質を用いた温度校正</li> <li>・OTS※を使用することで酸化防止環境における測定が可能(酸素濃度1ppm未満)</li> </ul> <p style="text-align: right;">※Oxygen Trap System</p>

## 上皿式差動型示差天秤システム※

※メーカーカタログより



## シュウ酸カルシウム水和物の減量

